

学校からのメッセージ

～ボランティアのみなさんが学校支援をしていただくための手引き～

学校ってこんなところ

ある小学校の1日（例）

時刻	日 課
7:45	児童登校
8:20	職員打ち合わせ
8:30	朝の会
8:50	1校時
9:35	次時の授業の準備
9:40	2校時
10:25	業間（〇〇タイム）
10:45	3校時
11:30	次時の授業の準備
11:35	4校時
12:20	給 食
13:10	昼休み（〇〇タイム）
13:35	清掃の準備や移動
13:40	清 掃
13:55	5校時
14:40	次時の授業の準備
14:45	6校時
15:30	帰りの会
15:40	児童下校
16:00	・（中学校は部活動指導） ・職員会議や校内研修会 ・教材研究や授業の準備 ・学級通信等の作成 ・保護者への連絡 ・家庭訪問 ・出張等



滋賀県国際課による「世界の国々・世界の料理」

1日の行事、出張や子どもへの連絡事項等を確認します。

出欠の確認、健康観察、子どもへの連絡を行います。

子どもと一緒に活動したり、授業の準備をしたりします。

配膳や食事のマナー、食に関する指導等行い、子どもと一緒に食事をとります。

POINT

◎学校への最初の問い合わせやご相談は…

教頭先生や教務主任の先生、学校と地域を結ぶ
コーディネート担当者へ！

比較的連絡がとりやすい学校の窓口です。

◎担当の先生と話をしていただくには…

事前に連絡をとってください。
昼休みや放課後がベターです。
月曜と水曜の放課後は、職員会議等を行って
いますので、ご注意ください。



彦根地方気象台による「天気の変化～台風～」



宅配業者による「交通安全教室」

学習の進め方

小学校では45分間、中学校では50分間を1単位時間としています。

学校教育目標



教科目標



単元目標



本時の目標

各学校では文部科学省が定めた学習指導要領に基づき、各学年ごとに年間の指導計画を作成しています。

子どもたちがその学年での目標が十分達成されないと、次の学年における学習に大きな影響を与えかねません。それだけに1時間1時間の授業は重要です。

学習の目標を達成し、多様な学習ニーズに対応するためにも、専門性や技能・技術力を活かした学習（授業）支援は、子どもたちの学習を深めていくうえで、効果的かつ貴重なものとなります。

1時間の授業の流れ

導入（5分～10分） ■学習課題をはっきりさせるとともに学習意欲を高めます。



出会い

あれ？ どうして？ ふしぎだなあ！

展開（30分～40分） ■課題解決のための学習活動。さまざまな体験をし、思いや意見を交流することで、学びをより深めていく学習活動の中心となる部分です。



体験

よく調べてみよう！ ○○するとどうなるんだろう？

終末（5分～10分） ■学習したことを振り返り、学習内容の定着、次の学習への方向付け、学習意欲の喚起などに努めます。



まとめ

なるほど！ またやってみたい！



エネルギーについて学ぶ出前教室



地元の大学・留学生との交流



自転車に乗れるロボットの実演

POINT

◎子どもは、興味を持ったことに、さまざまな疑問を持ち、ときには**予想もしないことをつづや**きます。

◎子どもたち一人ひとりの思いや願いを大切に、**その子なりのペース**があることを認めてあげてください。

◎詳細については、先生との**十分な打ち合わせ**が必要です。

学校が求める支援内容

学校が支援を求めている内容について紹介します。支援内容をお考えいただく際の参考にしてください、工夫とアイデアあふれるご支援をお願いします。

■教科では…

・国語	読み聞かせ、読書、朗読（劇）、手話との出会い（点字・手話）、民話や方言について、百人一首、短歌・俳句、硬筆・毛筆、詩・エッセイなど
・算数（数学）	数や図形のふしぎ、数式、そろばん、ゲームなどをとおして数学の楽しさを学ぶなど
・生活（小学校1・2年）	季節の草花や虫の話、生き物の飼育指導、地域の伝承遊び、むかしの遊び、農園作業（野菜などの栽培指導）、地域の祭り、町たんけんの引率補助など
・理科	樹木観察や野鳥、昆虫観察（昆虫の体のつくりや一生）、生き物の飼育、植物の発芽と成長、野菜などの栽培指導、季節の星座、天体観測、天気の変化（気象・天気図など）、光や磁石の性質、振り子の運動、電磁石の働き、電流の働き、電気の利用、太陽の動き、空気と水の性質、環境問題や自然保護について、人の体のつくりと動き、地層や岩石・化石、人と自然（自然保護活動）、てこの原理、生物と環境など
・社会	絵地図づくり（校区引率補助など）、むかしの道具や生活について、文化財や年中行事、ゴミの分別やリサイクル、森林資源の働き、自然災害の防止、地域の伝統工業、農業や食糧事情について、水産業・工業について、情報産業、外国文化や生活習慣の話、海外生活体験談や移住・留学生の話、青年海外協力隊等の活動体験談・戦争体験や疎開体験談など
・音楽	鍵盤ハーモニカやリコーダー指導、木管楽器や打楽器の指導、金管楽器や弦楽器の演奏、和太鼓やお囃子の演奏、合唱、民謡や長唄、邦楽（琴・三味線・尺八など）
・図工（美術）	小刀・彫刻刀の使い方指導、版画指導、電動糸のこぎりの操作や釘の打ち方、両刃のこぎりの使い方、水彩画や油絵の鑑賞や指導、コンピュータグラフィックスなど
・体育	器械体操、陸上競技、水泳、球技、スキー、剣道、柔道、フォークダンスなどの表現運動など
・保健	ケガの防止や応急手当、第二次性徴（初経・精通）について、病気の予防（生活習慣病）、アルコールの害、喫煙の話、薬物乱用防止など
・家庭	運針、ミシン操作の指導・調理実習補助・栄養指導など
・技術家庭	子育て体験談、電気回路、コンピュータ操作・プログラム作成など
・道徳	仕事や人生における体験談など
・英語	外国の文化について、英会話など
・総合的な学習の時間	車椅子やアイマスク体験、パソコン指導、デジカメ指導、点字や手話、リサイクルについて、ゴミと環境、ボランティア体験、中学生チャレンジウィーク（職場体験）、外国の文化・海外生活体験談、しめ縄づくり、地域の歴史や文化、地域の伝承、行事、食べ物など

■学校行事では…

	行事の写真撮影、ビデオ撮影、賞状等への児童・生徒の氏名書き、作物栽培（学校田での米づくりやさつまいもづくり）、講話、楽器演奏、各種スポーツ・レクリエーション、修学旅行プランアドバイスなど
--	---

■クラブ活動では…

	将棋、囲碁、パソコン、手芸、そば打ち、陶芸、ギター、琴、和太鼓、エアロビクスダンス、ゲートボール、グランドゴルフ、そろばん、押し花、まんじゅうづくり、パッチワーク、アレンジメントフラワー、一輪車、生け花など
--	---

■部活動では…

	野球、サッカー、バスケット、バレー、ソフトボール、テニス、卓球、陸上、水泳、合唱、合奏、吹奏楽、華道、茶道、書道など
--	--

■その他の具体的支援例

身近な川の清掃活動、森の中での間伐体験、川や琵琶湖の水質調査、生物調査やピオトープ、省エネやリサイクル、酸性雨や地球温暖化について、琵琶湖や身近な河川について、人生経験談や職業観について、趣味や特技を活かした生き方のミニ講話、交通安全指導、校外学習などの引率補助、校舎の修理、窓ガラスの清掃、遊具のペンキ塗り、飼育小屋などの整備、草刈り、樹木の剪定、図書室の蔵書整理、理科室の備品整理、学校のホームページの作成など

心がけたいこと



学校を訪問するときの心得・ポイント9か条

1 校舎に入るときには、玄関などで記名が必要、名札着用を求められます。

■学校の危機管理の面から、玄関にノートなどがあり、来校者は氏名、所属、用件などを記入します。また、名札を付けるようにしてください。

2 まず、職員室へ…教頭先生を訪ねてください。

■事前に連絡をとられたうえで、お会いする方が担任の先生であっても、まずは、学校を訪問されたら、教頭先生に用件を伝え、了解を得るようにしてください。

3 連絡は、電話よりもファックスの方が確実です。

■先生が職員室に戻る時間は本当に限られています。確実に連絡を取り合うのはファックスの方がいいかもしれません。相手の先生の名前も忘れずに記入してください。

4 予定していた日がキャンセルになることもあります。

■授業は、必ずしも計画どおりに進むとは限りません。子どもたちの理解度や、また、急な対応をしなければならないことがあると、予定していた日や時間がキャンセルされる場合もあります。

5 学校で知り得た秘密や情報は、外で話さない。

■学校には、さまざまな個人情報があります。子どもたち一人ひとりを大切にする意味でも、子どものプライバシーを必ず守ってください。

6 学校の受け入れ体制は、それぞれ違います。

■同じ内容の活動であっても、学校の受け入れ体制や対応は、学校によってそれぞれ違います。それぞれの学校の方針にそって、柔軟に活動することが望ましいです。

7 学校の生活や仕組みを十分に理解しておくことが大切です。

■1日の流れ（日課）や主な行事などについて、事前に知っておくと安心です。夏季の水泳実施期間中や保護者参観日などの学校行事のときは、特別日課を組むことがあります。

8 実際の学習活動では…一人ひとりの子どもを大切に！

■子どもにわかりやすい、やさしい言葉で話すように心がけましょう。また、特に配慮を要する子どもなど、さまざまな環境で育ってきた子どもがいることを十分に理解したうえで、接することが大切です。

9 学習（授業）支援者側にとって…

■子どもを誉めてあげてください。そして、ともに学びましょう。お礼は、子どもたちの「笑顔」と「ありがとう」の言葉です。

わからないことなどがあれば、下記担当までお気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】 滋賀県教育委員会事務局生涯学習課内

「地域の力を学校へ」推進事業担当：学校支援ディレクター

TEL 077-528-4654

FAX 077-528-4962

クリック

詳しくは… **におねっと** <http://nionet.jp>

もしくは…

におねっと/検索